

三重県合唱連 H25A6号
平成25年5月24日

三重県合唱連盟加盟団体 御中

三重県合唱連盟
理事長 小林正美
(公印省略)

第31回三重県合唱講習会要項

拝啓 時下、貴団におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素より当連盟に対し格別のご理解、ご配慮を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、今年の合唱講習会は、清原浩斗先生と清水雅彦先生を講師にお招きした講座を、下記の予定にて実施したいと考えております。

今年の講習会は、レッスンの1コマは3時間(団体レッスンは2時間)で、講習中にヴォイス・トレーニング等も組み込んで、より分かり易いレッスンになるように考えました。この機会にぜひとも多くの参加をお願いいたします。 敬具

記

1. 名称 第31回三重県合唱講習会
2. 日時 平成25年7月14日(日)、15日(月・祝) 2日間開催
3. 会場 三重県文化会館「第1リハーサル室」、「小ホール」
4. 講師 清原浩斗先生、清水雅彦先生
5. 参加費 ※当日受付にて徴収いたします。
受講料：1人1講座につき
少年少女 700円
中高生 800円
大学・一般・職場・おかあさん 1,200円
非加盟者 1,500円
団体レッスン 上記の金額(部門によって違います)×人数
※中学・高校の引率で来られた顧問の方は受講料は必要ありません。
6. 楽譜 各講座で使用する楽譜は各自でご用意ください。(コピー不可)
資料(コピー可能な)は実行委員会で用意いたします。
「全日本コンクール課題曲(名曲シリーズ No42)は、受付にても販売します。
7. 申込切 平成 25年 6月 17日(月)必着
(先着順にて受付。会場の都合で定員に達したら締切ることがあります。)
三重県合唱連盟ホームページ(<http://www.mie-choral.net>)より専用書式をダウンロードして必要事項を記入の上、専用アドレスにメール添付してお申込ください。FAXでのお申込はご遠慮ください。
団体レッスンを希望される場合、曲の指導を希望する場合は申込時に楽譜1部(コピー不可)を申込先に必ず郵送してください。(PDF添付不可)
メール添付申込みアドレス miechorus@yahoo.co.jp
郵送宛先 … 〒514-2211 津市芸濃町棕本 3533-1-2E
三重県合唱連盟 常住光子 宛
※お申込後、後日各団に詳細をお送りします。
8. 問合せ先 miechorus@yahoo.co.jp にメールでお願いします。

9. 講座内容

		講師／清水雅彦 先生	講師／清原浩斗 先生
14 日 (日)	12:30～15:30 (3 時間)	① 全日本コンクール課題曲 G3 「どうしてだろうと」 鈴木憲夫 作曲	② 女声合唱 発声中心ですが、下記の曲集を使います。 「歌のブーケ」より 2 曲
	16:00～18:00	③ 団体レッスン	④ 団体レッスン
15 日 (月・祝)	9:15～12:15 (3 時間)	⑤ 全日本コンクール課題曲 F1 「In die tribulationis」 Morales 作曲	⑥ NHK コンクール中学校課題曲 女声・混声 中学生対象 「友～旅立ちの時～」 作曲:北川悠仁(ゆず) 編曲:相澤直人
	⑦ 13:00～16:00 (3 時間) ⑧ 13:15～15:15	⑦全日本コンクール課題曲 G1 「O magnum mysterium」 Victoria 作曲	⑧ 団体レッスン

※講座で使用する楽譜は各自で準備をお願いします。(コピー不可)

※②の講座で使用する「歌のブーケ」より 2 曲については、申し込み後お知らせします。?

※①②⑤⑥⑦は、個人でも参加できます。

※③④⑧の団体レッスンを希望される場合、曲の指導を希望する場合は申込時に楽譜 1 部 (コピー不可) を申込先に必ず郵送してください。

10. 講師プロフィール

清原浩斗 (きよはらひろと)

大阪府合唱連盟理事長、関西合唱連盟副理事長 全日本合唱連盟常務理事。大阪音楽大学声楽科卒業。三重県伊賀市上野出身。毎年のお城ホール「1万人の第九」や「母の日コンサート」の合唱指揮をはじめ、邦人として初めてウィーンおよびプラハ国立歌劇場で「第九」公演、2000年1月には東西ドイツ統合10周年記念日独合同第九をベルリンフィルホールで開催、現地でも大きくTV報道された。シドニーオペラハウスでの邦人演奏会、マーラー「千人の交響曲」や関西の大イベントの合唱指揮を担当。コンクールの審査や講習会の指導でも活躍。クラシックからミュージカル・ゴスペルまでレパートリーは幅広く、その音楽性・演出力には定評がある。

清水雅彦 (しみずまさひこ)

1959年新潟生まれ。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を小川恒子、三林輝夫、故小野光子の各氏に師事。在学中からオラトリオ、オペラ、日仏露歌曲を幅広いジャンルにわたり研究を行い、バッハ、ヘンデル、モーツァルト、シューベルト、コダーイ等の宗教作品のテノールソロ、また「ドン・ジョヴァンニ」のオッターヴィオ、「ヘンゼルとグレーテル」の魔女、「エウゲニ・オネーギン」のレンスキー等のオペラ出演、さらに日露音楽家協会のレクチャーコンサート、日本歌曲・フランス歌曲の演奏会にも数多く出演。来年1月11日(土)には東京・浜離宮朝日ホールにて、これまで同様委嘱初演作品を含めたテノールリサイタル「歌の世界—その6」の開催を予定している。一方、各種コンクール、合唱祭、講習会等の審査・講師、NHK「Nコン・オン・ザ・ウェブ(web版みんなのコラス)」での講評、音楽雑誌・教科書への執筆、模擬授業の展開と、声楽・合唱指揮・教育と幅広い分野で活躍している。

また「中米とメキシコにおける声楽・合唱作品と作曲家研究」をテーマとして、2007年度には中米・グアテマラ共和国に研究滞在をし、その間グアテマラ国立音楽教員養成学校の講師や、メキシコ、中米各国において発声法、合唱指揮などの講習会講師、演奏会指揮を務めるなど、現在も継続した研究、文化・演奏交流を続けている。

現在、都留文科大学教授。東京芸術大学非常勤講師。日本合唱指揮者協会ならびに「音楽樹」会員。全日本合唱連盟国際委員。著書に「コーラスを歌おう」(音友)等、CD録音、VTR・DVDなどの録画も多数ある。